

# 8月市長定例記者会見要旨

と き 平成30年8月1日（水）11時～12時

ところ 庁議室

## 1 佐伯市小学生イングリッシュ・キャンプについて

次期学習指導要領の改訂に伴い、平成30年度から小学校で外国語科（小5・6年生）、外国語活動（小3・4年生）を設け授業を始めている。また、平成26年10月に策定された「大分県グローバル人材育成推進プラン」では、グローバル人材育成の取組が示されている。

これらのこと踏まえ、これからを生きる子どもたちが、世界に挑戦し、多様な価値観を持った人たちとを協働をしていく力を育むため、佐伯市内小学校に在籍する小学校5・6年生を対象に実施するもので、初めての取組。

(1) 期 日 9月15日（土）、16日（日）

(2) 場 所 宿泊研修施設 セミナーハウスはぐくみ（佐伯市総合運動公園内）

(3) 対 象 市内小学校5・6年生 21人

(4) 内 容

佐伯市内の小学生と外国語指導助手（ALT）3人、佐伯市国際交流アドバイザー（APU学生）3人が1泊2日の共同生活を通じ、お互いの文化に触れたり、英語でコミュニケーションをする楽しさを味わうことを通して、多様な価値観と英語コミュニケーション能力の素地を育む。

## 2 オーストラリア グラッドストーン市との国際交流について

姉妹都市グラッドストーン市（オーストラリア、平成8年9月提携）との友好を深めることを目的として、下記の2事業を実施し、同市を訪問する。

(1) 平成30年度オーストラリア グラッドストーン市との国際交流研修旅行

鶴谷中学校とタナムサンズ校、佐伯城南中学校とツルーア校（姉妹校締結）の生徒が、英語でのコミュニケーションや文化の違いを学ぶことを通じ、グローバルな視点を育み、英語学習への意欲を高めることを目的として、隔年で相互訪問している。

①期 間 8月9日（木）～16日（木） 7泊8日

②参加者 鶴谷中学校生徒 15 人、佐伯城南中学校生徒 12 人  
※引率者は、鶴谷中校長、教諭 2 人、指導主事 1 人、添乗員 1 人

③内 容 各学校間交流、ホストファミリーとの交流等

## (2) 2018 グラッドストーンを知る旅

姉妹都市であるグラッドストーン市でのホームステイを通して、異文化体験や市民レベルでの交流を深めることを目的に実施。平成 9 年に始め、平成 10 年訪問以後は、隔年で訪問している。

①期 間 8 月 2 日 (木) ～8 日 (水) 6 泊 7 日

②参加者 7 人 (市民を対象に公募により決定)  
※引率者は、担当職員 2 人、ATL 1 人

③内 容 市長表敬訪問、動物園・野生動物保護区訪問等

④出 発 式 8 月 2 日 9:00～ 市長室

## 3 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク「佐伯地域行動計画」の策定について

佐伯地域行動計画書は、祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会が策定した管理運営計画書及び行動計画書に掲げられた基本方針及び取組に基づき、佐伯地域における具体的な行動を示したもの。

### (1) 計画の概要

ユネスコエコパークに求められる「保存機能・学術的支援・経済と社会の発展」の 3 つの機能を最大限に発揮させるため、豊かな森、水、生き物などの自然環境を自然への畏敬の念とともに次世代にしっかりと継承し、自然と人間社会の共生を図りながら、持続可能な地域づくりを行っていく。

### (2) 計画期間

平成 30 年度から平成 34 年度までの 5 年間

### (3) 基本方針ごとの主な行動内容

### 【基本方針1】 貴重な生態系の持続的な保全

#### ①自然環境保全活動の実施

- ・ 宇目緑豊小中学校と連携した学習活動
- ・ 重岡児童クラブの野外学習活動の支援

#### ②普及啓発活動の推進

- ・ 地域住民への説明会開催
- ・ 地域おこし協力隊による周知活動

### 【基本方針2】 学術的研究や調査・研修の支援

#### ①環境教育活動の支援

- ・ 宇目緑豊小学校を対象とした藤河内溪谷生物調査
- ・ 宇目緑豊中学校を対象とした藤河内溪谷体感キャンプ

#### ②有識者との連携、協働

- ・ 大学教授と連携した調査活動及び研修会の開催

### 【基本方針3】 自然と共生した持続可能な発展

#### ①関係施設の整備充実

- ・ エコパーク拠点施設の整備に伴う道の駅宇目及びうめキャンプ村施設の改修
- ・ 藤河内溪谷の遊歩道の改修及び外国語表記の案内板の設置
- ・ 新たなトレッキングコースの整備
- ・ 情報通信施設の整備

#### ②企業等との連携

- ・ 宇目の食と宿泊を組み合わせたアクティビティプランの作成

#### ③エコパークブランドの形成

- ・ 農林産物や加工品等への国際的ブランド名を付加する取組

#### ④オーガニックの研究、取組

- ・ 傾山の湧水を利用したワサビ栽培

#### ⑤ツーリズムの展開

- ・ 自然体験ツアー

#### ⑥アウトドアイベントの開催

- ・ 山ガールサミット

※詳細は、別添資料祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク「佐伯地域行動計画書」参照

## 4 無料空き家相談会について

市内に空き家を所有している方や、空き家の活用を検討している方を対象に、空き家の売買、解体、相続問題、税金などの問題に対応するため、市と専門家による「無料空き家相談会」を開催する。

過疎化により増加した空き家が、景観上及び防犯・防災上、問題となっていることから、良好な住環境の確保及び空き家活用のための取組みで、初めて実施する。

(1) 日 時 8月16日(木)、17日(金)  
9時30分～12時、13時～16時 ※両日とも

(2) 場 所 市役所1階 展示ホール

(3) 対 象 市内に空き家を所有している人  
市内の空き家の活用を検討している人

(4) 主な相談内容

- ・空き家の売買、賃貸、活用
- ・空き家の相続問題
- ・空き家の改修や解体
- ・空き家に関わる税金
- ・空き家バンクへの登録

(5) 対応する団体

司法書士会、建築士会、空き家管理事業者、佐伯宅地建物流通センター、佐伯市

(6) 空き家バンク登録、移住・定住の状況 ※平成30年6月末現在

①空き家バンク物件登録数・成約数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
登録件数	13	24	31	10
成約件数	0	12	11	6

②ようこそ佐伯住まいるサポート事業(移住者への補助の実績のみ)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
世帯数	10	31	40	16
人数	26	95	81	31
補助金額(円)	10,000,000	29,613,040	36,731,480	10,498,396

※I・Uターンによる新築、空き家バンク登録物件購入等。平成27年度は新築のみ。

## 5 第1回大分県南部地域野球交流戦（平成29年台風18号災害復興支援） について

兵庫県警察硬式野球部監督等として活躍する高司健司さん（佐伯市宇目出身）が代表者を務める一般社団法人「ベースボールパーク」が主体となり、佐伯市、津久見市、臼杵市との共催による平成29年台風18号復興支援を目的とした大分県南部地域野球交流戦を実施する。

高司さんは、野球の普及・振興を図るとともに野球の力で地域活性化を目指す取り組みを行っており、平成29年7月に一般社団法人「ベースボールパーク」を設立している。

### (1) 経 過

昨年の台風18号（平成29年9月）の県南地域での災害を知り、地元の力になりたいという思いで社会人・大学等による大分県南部3市での交流戦を計画。大分県や福岡県を始め岡山県、広島県等から社会人、大学生等の8チームが参加する14試合の交流戦を行こととなった。

九州には春季キャンプに訪れるチームも多いことから、今後も3月頃に交流戦を実施し、参加チームを増やし、県南3市を野球の力で盛り上げていく計画をしている。

(2) 期 日 8月13日（月）～8月16日（木）

(3) 場 所 佐伯球場、津久見市民球場、臼杵市民球場

(4) 参加チーム 8チーム

（社会人）新日鐵住金大分、J R九州、ホンダ熊本、

（大 学）日本文理大学、環太平洋大学、福岡工業大学

（専門学校）MSH医療専門学校、日本ウェルネススポーツ大学

### (5) 内 容

#### ① 交流戦の実施

（佐伯球場）8試合 8月13日から16日まで 1日2試合

（津久見球場）4試合 8月14日に2試合、15、16日に各1試合

（臼杵球場）2試合 8月13日に2試合

#### ② 野球教室の開催

野球の素晴らしさ、楽しさを体験してもらうため地元の少年野球チームに野球教室を開催する。※ 調整中

※別紙「第1回大分県南部地域野球交流戦 組合せ表」添付